

精神障害者の障害特性と 支援技法を学ぶ研修

【 講義 1 】

本研修の目的と 精神障害者の障害特性の 総論的理解

1. 本研修の目的

(1) 研修の目的

① 長期入院精神障害者の地域移行の促進

- ◆ 長期入院となっている精神障害者の地域社会への移行が政策課題となっているが、長期入院者の多くが高齢化しており、在宅、通所、入所の介護保険サービスをはじめとする高齢者向けの施策の活用を進めていく必要がある

② 障害福祉サービス等に対する精神障害者の利用ニーズの増大

- ◆ 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等に対する精神障害者の利用は、他障害と比較しても増えており、精神障害者数の増加と相まって、今後も利用ニーズが高まることが予想され、これまで精神障害者の受け入れが少なかった事業所での利用促進を図る必要がある

しかし…

高齢者向け、障害者向けのサービス事業所の従事者の多くは、精神障害者の受け入れを進めていくにあたって、その対応に不安や戸惑いを感じている

研修に参加した従事者が精神障害者の障害特性を理解し、基本的な支援技法を学ぶことを通じて、精神障害者の自立と社会参加が促進されることを目的とする

(2)こんなことで困っていたり対応に不安を感じたりしていませんか？

1日に何回も
電話がくるの
だけど・・・

病状なのか性格の
問題なのか分から
ない？

急に怒り出した
けど、どうして？

先週片付けたばか
りなのに、また散ら
かっている。
役に立っているの
かしら・・・？

周りの人に意地悪
をされていると言
うのだけど・・・

訪問したけどドアを
開けてくれない・・・

「死にたい」と言わ
れてどう返せばい
いの？

必要なのに支援を
拒否されてしまっ
た・・・

寝てばかりいると
きと元気なときと
のギャップがあり
すぎる

支援するときの
距離の取り方が
難しい・・・

どこまで手を出
していいのだろ
うか？

通院先と連携した
いけど、敷居が高
いな・・・



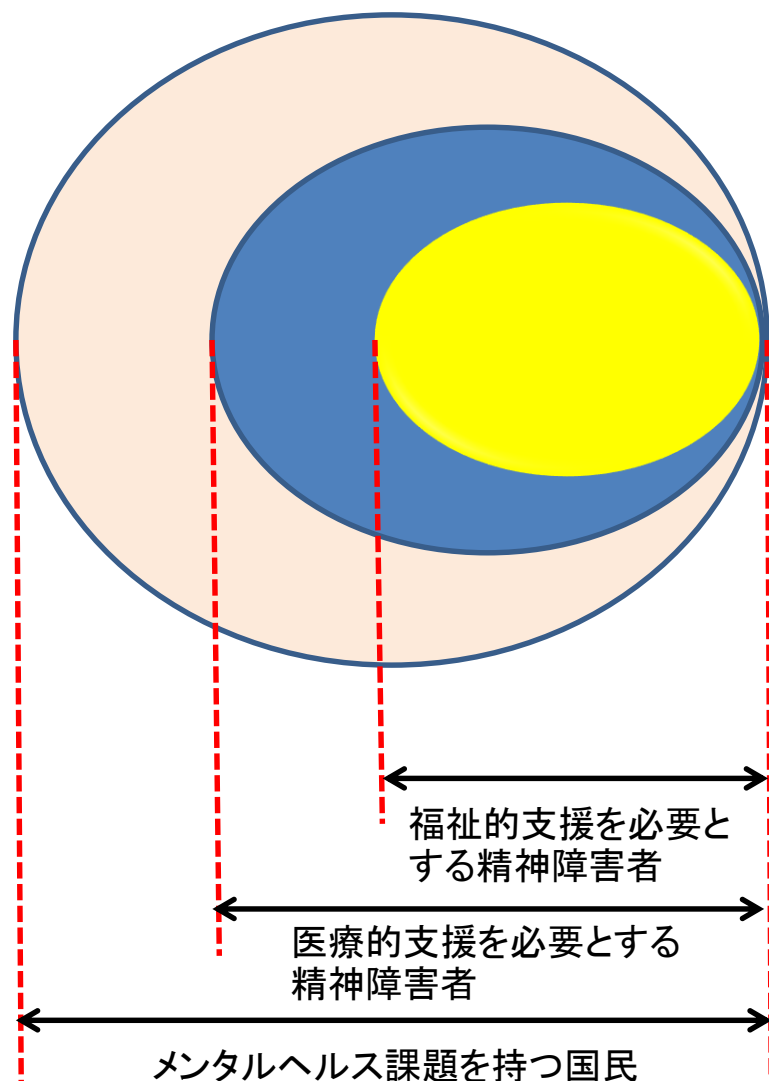
(3)この研修の流れ

この研修では、たくさんの精神疾患がある中で、皆さんが出会う可能性が高い、次の疾患について、その特性と対応技法、そしてよりよい支援のための連携のあり方について、講義と演習を織り交ぜて学んでいただきます

- 統合失調症
- 気分障害(うつ病、双極性障害)
- 老年期の精神障害(高齢の統合失調症を含む)
- アルコール依存症
- 発達障害

2. 精神障害者の障害特性の 総論的理解

(1) 精神障害者の定義



精神保健福祉法

- この法律で「精神障害者」とは、統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者をいう

医療にかかっている精神障害者は約392万4千人！

(H26年厚生労働省「患者調査」より)

障害者基本法

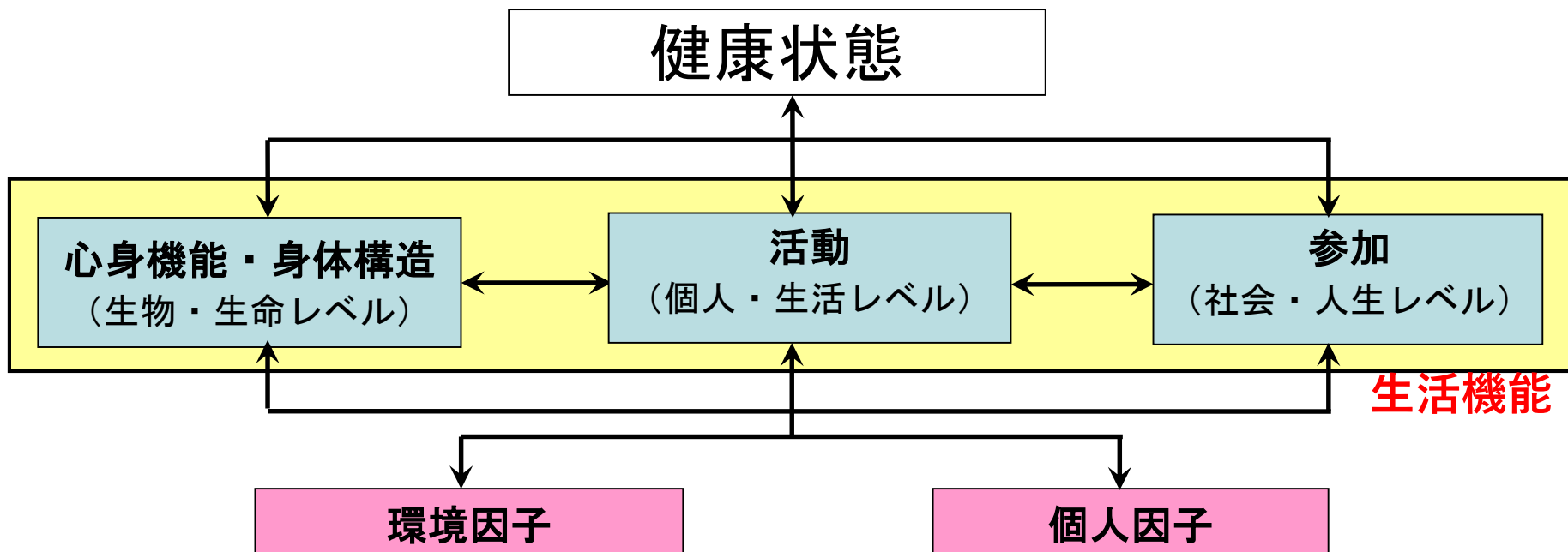
- 身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害（以下「障害」と総称する）がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう

障害福祉サービス等を利用している精神障害者は約17万4千人

(H27年10月「国民健康保険団体連合会データ」より)

(2) 精神障害者の障害特性の理解のために ～国際生活機能分類(ICF)の活用～

ICF の目的 「“生きることの全体像”を示す“共通言語”」



- 生活機能の3レベル(心身の働き、生活行為、家庭・社会への関与・役割)は相互に影響を与え合い、また「健康状態」「環境因子」「個人因子」からも影響を受ける

(3)精神障害者の障害特性理解のためのポイント

- 疾病と障害が分かちがたく併存し、病状が障害に影響する。このため日常生活および社会生活において障害の現われ方に波がある

例)昨日やれていたことが今日はできない

- 社会的障壁が活動制限や参加制約の要因となって、本人の生きづらさ、生活のしづらさにつながっている

例)精神障害者に対する誤解や偏見、理解の低さ

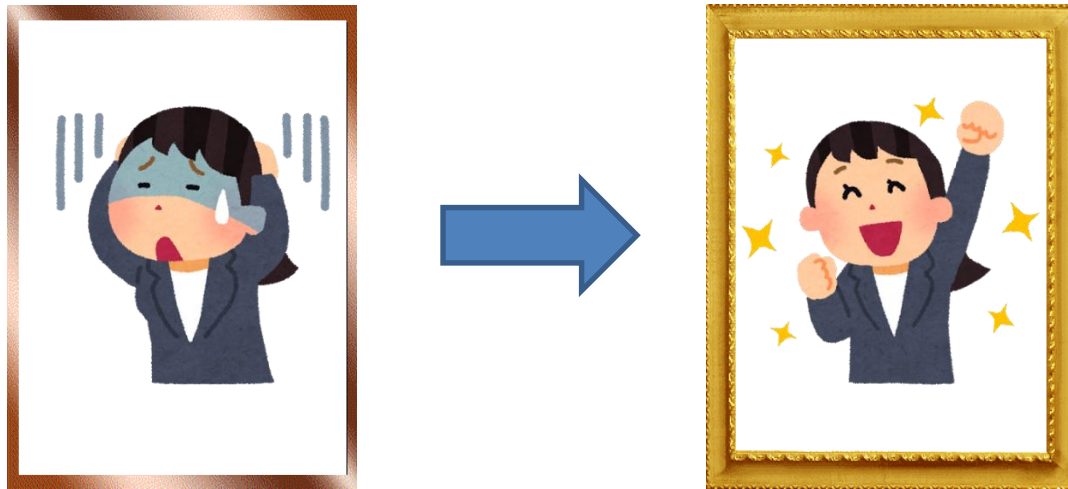
- 過度の自信喪失、自己肯定感の低下が認められる場合がある
- 二次的な障害である長期間にわたり刺激の少ない環境にいたことによる施設症(感情の平板化、意欲の低下、従順さ等)と区別する

(4) 支援のポイント

- **支援や対応の仕方に正解はありません**
- 障害があっても、高齢になっても、適切な環境で成長、変化できることに確信をもち、その人なりの自立を支援してください
- 1人で抱え込まず、他の支援者や機関とチームを組んで支援するという意識を持ちましょう。連携、協働していくことで答えが見えてきます
- 苦手に見えることも視点を変えてみると、その人への理解が深まり、支援が楽しくなります。リフレーミングしてみましょう！

(5) リフレーミングとは

- 世界的な名画も、額縁（フレーム）を変えると、その印象もがらりと変わります
- リフレーミングとは、ある枠組み（フレーム）で捉えられている物事を枠組みをはずして、違う枠組みで見ることです
- 同じ物事でも、人によって見方や感じ方が異なり、ある角度で見たら長所や強みになり、また短所や弱みにもなるものです



今日1日を楽しく過ごしましょう！